

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対応した 環境教育活動に関するガイドライン（ver.1）

本ガイドラインは、野外活動等の環境教育活動を継続して実施するために、新型コロナウイルス感染症予防に向けて最大限注意を払いながら具体的な対策を講じるための指針を示すものである。

1. 基本的な考え方

- (1) 指導者は、新型コロナウイルス感染症予防を参加者が自ら考え行動するための働きかけを行う。
- (2) 指導者は、感染症から回復した（もしくは無症状を含む）人が差別されるなどの人権侵害を受けることのないよう意識向上に努める。
- (3) 指導者は、繰り返しリスク評価を行う。
- (4) 地域の状況や活動内容によって、工夫しながらリスクマネジメントを行う。

2. 具体的な対策

基本方針：

➤ 感染予防の3つの基本を守る。

- ①身体的距離（できるだけ2m程度、最低1m）の確保
- ②マスクの着用*
- ③石鹸による手洗い・アルコール等による手指消毒

➤ 3密（密集・密接・密閉）を回避した活動を行う。

*マスクの着用を基本とするが、夏場は熱中症予防を心がける。特に野外活動では水分補給を行うように努めること。

(1) 従事者における対策

- ・ 健康状態のチェックリストを作成し健康管理に活用する。
- ・ 健康不安がある場合は自宅待機とする。
- ・ 出勤前に検温を行う。
- ・ 近距離の会話はできるだけ真正面は避ける。

(2) 施設における対策

- ・ 施設清掃の拡充を行い、共用部の消毒を徹底する。
- ・ こまめな換気を心がける。
- ・ 入口・トイレ等に消毒液を設置する。
- ・ 運営上の工夫を行い、利用者の人数制限を行う。
- ・ 入館者の検温を行う。

(3) 参加者への周知

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取り組み、3密を避けるための対策への協力を依頼する。
- ・ 健康状態のアンケートを送付し、事前提出を求める。
- ・ 健康不安がある場合は参加を見合わせる。
- ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は参加を見合わせる。
- ・ 過去 14 日以内に観察期間を必要とされている人と濃厚接触がある場合は参加を見合わせる。
- ・ イベント終了後 14 日以内に発症した場合、主催者に濃厚接触者の有無を報告する。
- ・ 個人情報保護のガイドラインを作成し参加者に周知させ、主催者は遵守する。

(4) 参加者による対策（当日）

- ・ 外出時に自宅で検温を行う。
- ・ 参加者同士の近距離の会話はできるだけ真正面は避ける。
- ・ マスクの予備、清潔なハンカチ・タオル数枚、ポケットティッシュ等を持参する。

3. 活動内容に基づいた個別的な留意点

(1) 自然体験活動

- ・ 活動グループを少人数で実施する。
- ・ 野外においても身体的距離（できるだけ 2m 程度、最低 1m）の確保に努める。
- ・ 共用の教材・教具は使用后消毒を徹底する。教材・教具の材質にも注意する。
- ・ リスクマネジメントを徹底し、病院にかかるケガをしないように心がける。

(2) 社会教育施設（博物館・動物園・水族館・環境学習施設等）における環境教育

- ・ 施設の共用部分、特に手で触れることが想定される場所はこまめに消毒を行う。
- ・ 直接手で触れることができるハンズオン展示物等の使用を当面控える。
- ・ ヒトから動物への感染が懸念される施設では動物との距離を十分に取る。
- ・ 3密になるおそれがある感染リスクの高いイベントは行わない。
- ・ グループワークや調理など感染リスクの高い活動は極力避けるように努める。

(3) 学校教育における環境教育

- ・ 日常的な健康チェックを励行し、健康に留意した登校・活動参加を促す。
- ・ 出来る限り少人数のグループに分かれて行う。
- ・ 共用の教材・教具は使用后消毒を徹底する。教材・教具の材質にも注意する。
- ・ グループワークや調理など感染リスクの高い活動は極力避けるように努める。

(4) 講座・講演会等

- ・ 3密を避けて実施する。当面 50 人以上*の活動は避ける。50 人以下でも極力対面での実施を避けオンラインでの開催を検討する。
*「50 名以上」とは米疫病予防管理センター（CDC）の勧告による。
- ・ 参加人数が多い場合は時間で区切る、複数会場を用意するなどの工夫を講じる。

- ・ 机・座席の配置を工夫する。
- ・ 配布資料は出来るだけ事前にメールで送信するか郵便等で送付する。
- ・ 飛沫感染を防ぐために大声を出すことを慎む。
- ・ 椅子や机、マイク等の共用の道具はこまめに消毒を行う。

(本件連絡先)

日本環境教育学会新型コロナウイルス
感染症(COVID-19)緊急研究プロジェクト

E-mail: covid-19_p at jsfee.jp

※at を@に変換してお送りください。